

## 目 次

家族をめぐる法・心理・福祉——法と臨床が交錯する現場の実践ガイド

はしがき

## 第 1 部 家族問題を理解するための法・心理・福祉 …………… 1

### 1 少年非行と法制度・心理の基礎知識 2

- (1) 少年非行と少年法 2
- (2) 家庭裁判所調査官 5
- (3) 事件送致の流れ 6
- (4) 終局決定 7
- (5) 少年事件にかかわる機関 9
- (6) 付添人制度 11
- (7) 少年非行にかかわる心理学エッセンス 13
- (8) 発達障害 20

### 2 犯罪と刑法・刑事手続の基礎知識 23

- (1) 刑法の基礎, 罪刑法定主義など 23
- (2) 故意と過失 25
- (3) 共 犯 26
- (4) 刑事責任能力と精神鑑定 27
- (5) 刑事訴訟法と少年法の関係 29
- (6) 逮 捕 31
- (7) 勾 留 32
- (8) その他の捜査 33
- (9) 刑事裁判 34
- (10) 被害者支援 36

### 3 家族の危機を理解するための基礎知識 39

- (1) 民法の基礎, 民法改正の動向など 39

(2) DV とストーカー——法的視点から	46
(3) ストーカーの心理	54
(4) 離婚の心理	58
(5) ハーグ条約と国際離婚問題	60
<b>4 児童虐待を理解するための基礎知識</b>	<b>64</b>
(1) 児童虐待防止法と親権制度等の見直し	64
(2) 児童相談所と児童虐待	70
<b>5 高齢者虐待を理解するための基礎知識</b>	<b>75</b>
(1) 高齢者の介護, 扶養義務	75
(2) 成年後見制度	77
(3) 高齢者施設	79
(4) 高齢者と介護者の抱える課題	82
(5) 認知症	84
<b>第2部 家族問題の具体的事例からよむ法・心理・福祉</b>	<b>89</b>
<b>1 少年非行の具体的事例</b>	<b>90</b>
(1) 累犯少年の特徴——被害者意識のパラドックス	90
(2) 被害者意識	92
(3) さまざまな少年非行の理解	96
(4) 万引きなど軽微な非行の理解	100
<b>2 ドメスティック・バイオレンス (DV) の具体的事例</b>	<b>105</b>
(1) DV 事例の包括的理解とその支援	105
(2) DV の概観	105
(3) 事例を通じた議論と提案	110
(4) 地域における支援・介入システムと今後の発展	115
(5) シェルターと母子生活支援施設	116
<b>3 不倫と離婚の具体的事例</b>	<b>121</b>
(1) 不倫とは何か	121

(2) 不倫の心理——事例から背景や問題点を探る	121
(3) 不倫が及ぼす配偶者・子どもへの影響	129
(4) 離婚時の紛争——離婚はどのようになされるか	133
(5) 離婚後の紛争——親権者変更・養育費・面会交流	138
(6) 今後の課題——離婚後の子どもの養育計画	147
<b>4 児童虐待の具体的事例</b>	148
(1) 児童虐待事例からみえてくる家族と社会	148
(2) ト라우マの心理	155
<b>5 介護殺人の具体的事例</b>	159
(1) 事例からみえてくる介護の実態	159
(2) 介護殺人の現状	159
(3) 介護殺人の具体的事例	161
(4) 被告人のその後	164
(5) さらなる悲劇を防ぐために	165
<b>第3部 家族問題をめぐる新たな潮流と課題</b> .....	167
<b>1 治療的司法</b>	168
(1) 世界の薬物問題への向き合い方	168
(2) 治療的司法とは何か	168
(3) 問題解決型裁判所の展開	170
(4) ドメスティック・バイオレンス・コート	172
<b>2 加害者家族支援</b>	173
(1) 隠された被害者「加害者家族」	173
(2) 加害者家族の可視化	173
(3) 日本の加害者家族の現状	174
(4) 日本の加害者家族支援のあり方	177
(5) 日本の加害者家族支援の現在	179

<b>3</b>	<b>情状鑑定</b>	<b>180</b>	
(1)	情状鑑定とは何か	180	
(2)	情状鑑定が求められる場合	181	
(3)	情状鑑定の方法論	181	
(4)	情状鑑定の効果と臨床的側面	182	
(5)	求められる情状鑑定の担い手	184	
<b>4</b>	<b>成人年齢引き下げと少年法</b>	<b>185</b>	
(1)	問題の概要	185	
(2)	議論のきっかけと背景	185	
(3)	少年司法制度の基本的な仕組みと少年法不適用によって起こる問題	186	
(4)	「若年者に対する新たな処分」の構想とその問題点	187	
<b>5</b>	<b>離婚時の親権——単独親権と共同親権</b>	<b>190</b>	
(1)	現行民法と法改正に向けた動き	190	
(2)	日本での議論状況	191	
(3)	諸外国の動向——オーストラリアの制度を参考に	192	
(4)	「子どもの最善の利益」のための親子法制度に向けて	194	
<b>6</b>	<b>子どもの意見の尊重と子どもの手続代理人制度</b>	<b>197</b>	
(1)	家事事件手続法の制定	197	
(2)	子どもの手続代理人	198	
(3)	調査官制度と子どもの意見の尊重のために	199	
<b>7</b>	<b>裁判員裁判と市民の福祉</b>	<b>200</b>	
(1)	刑事裁判の現実	200	
(2)	裁判員裁判によってもたらされた刑事裁判の変化	201	
(3)	裁判員裁判で審理される事件	201	
(4)	裁判員裁判と市民の福祉	202	

家族問題の相談ガイド

執筆者紹介